

川崎病院通信

2018年1月発行
発行責任者 病院長 中村 正
編集責任者 浦野 聖史

〒652-0042 神戸市兵庫区東山町3丁目3番1号 TEL: (078)511-3131



Vol.32

<https://www.kawasaki-hospital-kobe.or.jp/>

平成30年 新年のご挨拶



院長 中村 正

皆様、明けましておめでとうございます。昨年中は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。本年も何卒宜しく願い申し上げます。

当院は、開設してすでに80年余り、常に診療機能の充実に努め、地域社会に適切な医療を提供することを目標に努力を重ねて参りました。現在では、神戸市中央部の地域中核病院として住民の方々や診療所の先生方から、相応の信頼を得てきているものと思っております。その信頼にさらに応えるべく、平成23年より病院の新築工事に着工し、平成25年の年末にすべての新築・改修工事が完了、平成26年には電子カルテを導入、病院施設や診療機能を一新し、その後すでに約3年が経過し地域医療に少しでも貢献できる体制作りに進んでいるところです。常日頃から、診療所の先生からの紹介患者さんについては、救急現場でも外来診療の場でも、紹介医師の意向を迅速かつ的確に判断および尊重し、満足していただける対応を心がけ、地域との信頼関係を増しさらなる病診連携の促進を図っていききたいと考えております。すでに昨年4月より紹介率50%以上、逆紹介率70%以上を維持しており、当院医療設備の共同利用および医療関係者への研修会等の充実を図り、今年中の地域医療支援病院の取得を目指しております。

一方、病院を取り巻く医療情勢では、平成26年から国は2025年以降を見据えて、超高齢化社会における医療介護体制の確立と社会保障制度の維持を掲げて大きく舵を切りました。病院については、増えすぎた急性期病床の大幅削減、受け皿となる地域包括ケア病床の創設で、超高齢化社会のニーズに合った病床機能分化を促進しています。当院でも、平成28年8月から地域包括ケア病棟48床を設置し、急性期

から回復期、在宅に至る流れをスムーズにする機能を充実させようと努めているところです。本病棟の運用後約1年半が経過しようとしていますが、当初は稼働率が低迷した時期もありましたが、現在では稼働率80-90%、在院日数40日前後とほぼ安定的に運用されています。しかし、急性期病床の稼働率が低下した際に連動して地域包括ケア病床の稼働率も低下することもあり、さらなる安定化を図りたいと思っております。現在、本病棟への入床患者はほぼすべてが当院の急性期病床からであり、今後はこの病棟の本来の目的である院外からの直接入院患者の割合を増やすことを目標にしたいと思っております。

しかし、国が推進する地域包括ケアシステムの中で当院がどのように関わっていくかにおいて、病院内の機能の充実だけを図っていても不十分です。急性期治療を終えた高齢の患者さんが、自宅や元の施設に元気に帰っていただくこと、逆に在宅や施設で病気が悪化した場合に迅速に入院受け入れが出来ること、当院の主たる役割である急性期医療への貢献をさらに高めるために極めて重要な課題です。当院ではすでに平成23年に在宅医療支援室を創設し、退院支援に向けた院内体制を整備しつつありましたが、平成29年1月に患者支援センターを新たに立ち上げ、患者さんに対する院内外での全般的な支援業務、患者さんに関わる多職種への研修・教育、院外への広報活動などに積極的に取り組んでいきたいと思っております。

当院の現在の社会的立場や将来像を見据えて、本年は『患者さんの心に寄り添いさらに地域に根ざした病院へ』となるよう、全職員が一致団結し努力していく所存です。引き続きご協力、ご鞭撻の程宜しく願い申し上げます。



心不全患者さんを地域で支えています

10月14日(土)に神戸市医師会館で行われた講習会で、循環器内科の丸山総括部長が「冠動脈疾患進展予防における厳格な脂質管理の意義」と題した講演を行い、冠動脈疾患既往歴のある二次予防症例においては高LDL-C血症の厳密な管理や、糖尿病患者さんにおいては積極的な動脈硬化のスクリーニングによる厳密なリスク管理が重要であることをご説明いたしました。(写真上)

また、12月7日(木)には、4回目となる心不全カンファレンスを開催し、院外からも地域の先生方や介護・福祉関係の方にご参加いただき、在宅における心不全管理のあり方について一緒に検討しました。(写真下)

川崎病院では、心不全患者さんが地域で最期まで生活していくには、患者さんを地域の多職種で支えることが必要と考え、このような合同の検討会を積極的に開催しております。次回以降も是非ご参加くださいますようお願いいたします。



専門特殊外来担当医表

学会などの諸事情により代診、休診になる場合もあります。専門特殊外来は原則、予約(または一般外来の受診)が必要です。

診療科	月	火	水	木	金	土(第2・4は休診)				
内科	午前	大塚 章人 【糖尿病外来】	大塚 章人 【糖尿病外来】	桑迫 崇裕 【予防接種外来】	村井 潤 【糖尿病外来】	大塚 章人 【糖尿病外来】	関谷 博顕 【神経内科外来】	市原 紀久雄 【糖尿病外来】	吉崎 飛鳥 【呼吸器外来】
	午後	粕本 博臣 【腎臓外来】	久保 聡子 【糖尿病外来】	村井 潤 【糖尿病外来】	粕本 博臣 【腎臓外来】	尾野 慶彦 【呼吸器外来】	中村 正(第1・3・5) 横田 真二(第2・4) 【禁煙外来】	長谷 善明 【腫瘍外来】	飯田 正人 【血液外来】
循環器内科	午前	担当医 【心臓血管外科外来】(注)		
	午後			(第1・3) 【ペースメーカー外来】
外科	午前	(第2・4) 【ストマ外来】 9:00~	木許 健生 (第1・3) 【乳腺外来】
	午後	阪尾 淳 【乳腺外来】 13:30~	柴北 宗顕 【直腸肛門外来】 14:30~
整形外科	午前			河合 光徳 【人工関節外来(膝・股)】	戸祭 正喜 【スポーツ外来】
耳鼻咽喉科	午後	(第1・3・4・5) 【補聴器外来】要外来受診
形成外科	午前	【フットケア外来】
	午後	【レーザー外来】 完全予約制

(注)心臓血管外科外来では、心臓弁膜症などの疾患に対する外科的治療について検討を行い、手術適応症例については大阪大学心臓血管外科(患者さんの希望によっては近隣病院)に紹介致します。

ご予約は地域医療連携室まで電話またはFAXにてお申し込み下さい。 電話 078-511-3133 / FAX 078-511-3297

その他、各診療科にて力を注いでいる疾患・治療

(注)学会など諸事情により代診、休診になる場合もあります。あらかじめご了承ください。

標榜科	専門	医師名および診療曜日	標榜科	専門	医師名および診療曜日
内科	糖尿病	市原 紀久雄(月曜 午前)	消化器内科	悪性疾患(膵臓癌、胆管癌等)により 黄疸が出た時のステント減黄術	前田 哲男(月曜 午前/水曜 午前) 野村 祐介(火曜 午前/木曜 午前) 西田 悠(金曜 午前) 多田 秀敏(火曜 午前/金曜 午前)※内科2診で診察
	肥満、高脂血症、痛風	中村 正(月曜 午前/水曜 午前)		消化器癌の早期発見と 内視鏡治療	
	血液	飯田 正人(月曜 午前/水曜 午前/木曜 午前)		小児全般	戸祭 正喜 (月曜 午前)
	腎臓	辻尾 成人(月曜 午後)		手全般	
循環器内科	冠動脈疾患 末梢動脈疾患	全医師が対応致します	スポーツ障害全般	松場 眞弓(火、水、金 午前)	
形成外科	眼瞼下垂	相原 淳子 (月、火、木、金 午前)	涙道手術	睡眠時無呼吸症候群 中耳炎 アレルギー性鼻炎 副鼻腔炎 扁桃炎 声帯ポリープ 突発性難聴 顔面神経麻痺	下屋 聡子 (月、水、木、金、土 午前) 土曜日は第3・5のみ
	鼻の手術				
	顔面骨折				
	美容医療				
歯科 口腔外科	良性・悪性の皮膚腫瘍	全医師が対応致します			
	感染症				
	腫瘍(悪性、良性)				
	顎骨骨折				
	インプラントおよび インプラントのための骨再生				

ご予約は地域医療連携室まで電話またはFAXにてお申し込み下さい。 電話 078-511-3133 / FAX 078-511-3297